

科目名	キャリアデザイン1						年度	2026	
英語科目名	Career Design 1						学期	後期	
学科・学年	機械設計科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	奥住 智也	教員の実務経験		有	実務経験の職種		電機メーカーにて、機械設計者・管理職として従事		

【科目の目的】

前期履修科目「ビジネススキル」による、就職・進級活動前の導入教育を受け、自身の進路目標の達成に向けた実践的なビジネススキルの習得を目的とする。企業調査の手法を理解し、自身のキャリアパスの概要を論理的に構築する。

【科目の概要】

論理的思考と論理的文章の基礎を理解し作成する。また、コミュニケーションやディベートなどの訓練により、自己表現力を向上させ就職・進学に向けた基礎力を実践的に養う。更に、企業交流・講演を通じ、自分の適正を理解するとともに、企業選定の方向付けのヒントを得、自身のキャリアパスを構築する。

【到達目標】

学生が、学ぶ場（学校など）と会社・社会との違いを認識すること、社会や組織で働くことの重要性を理解したうえでビジネスにおけるマナー、身だしなみ、敬語（尊敬語と謙譲語の違い）、コミュニケーション能力、電話応対、ビジネス文書の作成などビジネスの基本となる事柄と製造業に従事する機械エンジニアとして活動していくために必要な能力（従来技術の習得、新技術に対応する力等）とマインドセットの基礎を実践出来る事を目標とする。また、授業によっては各自のノートPCを使用するため、教員からの指示があった授業の前には必ず充電を完了した状態で授業に持ち込み受講すること。

【授業の注意点】

八王子市をはじめ多摩地域企業経営者による講演に対しては毎回レポート課題を課す。講演内容を踏まえたうえで、自分自身のキャリアに対して自分自身の考えを表現する必要がある。ただし、授業時数の4分の3以上出席（オンライン授業含む）しない者は評価をすることができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A (就職活動実践)	就職・進学希望先が明確に定まっておりその準備を進めている	インターンシップや企業見学に参加している	インターンシップや企業見学の参加企業の選定が済んでいる	進学・就職の進路は定まっているが、企業・大学の方向性が定まっていない	自身の進路が明確に定まっておらず、大学進学・就職が定まっていない
到達目標 B (自己表現)	履歴書をルールに基づき記載でき、面接・面談においても自身を表現できる	履歴書をルールに基づき書く事ができ、面接・面談を実践できる	履歴書の記載内容を理解し、記載ルールを実践できる	履歴書の記載内容は理解しているが、書き方のルールが解らない	履歴書の記載内容が解らない
到達目標 C (自己分析)	自身の適性を理解し、企業/大学の選定が済んでいる	自身の適性を理解し、企業/大学の調査を行っている	自身の適性を俯瞰的に理解している	自己分析はできているが、自身の適性が解らない	自己分析が出来ておらず、自身の適性が解らない
到達目標 D (就職活動理解)	就職活動の日程感を理解し、自身のやるべきことをすでに実践している	就職活動の日程感を理解し、自身のやるべきことをいつでも実践できる	就職活動の日程感を理解し、自身のやるべきことを把握している	就職活動の日程感を理解しているが、何をすべきか解らない	就職活動の日程感を理解していない
到達目標 E (授業への姿勢)	社会人と学校の違いを理解し授業や課外活動において実践できる	社会人と学校の違いを理解し授業に向き合っている	社会人と学校の違いを理解している	学生思考から一部脱却できていない	学生思考から脱却できていない

【教科書】

ビジネス能力検定3級公式テキストを持参のこと。

【参考資料】

各授業において適時必要な参考資料を配布する。

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 50% 各講義における課題、テストによって評価する
レポート 50% 講義内容に対して自分の意見が述べられているかどうかを確認、評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		キャリアデザイン1			年度	2026
英語表記		Career Design 1			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	キャリアサポートセンターによる、就職・進学の流れと日程感を理解し、必要なToDoを認識する。	1 就職活動の流れ	就職・進学の日程感を認識できる	3	
			2 必要な行動	就職・進学に向けて必要な行動を整理できる		
			3 企業が求める人材	企業が求める人材を理解できる		
2	キャリアデザイン1	自己分析による自身の適性を考え、自身のキャリアパスをイメージする	1 自己分析ツール	自身の特性を俯瞰的に認識できる	3	
			2 求める人材と自身のGAP	企業が求める人材と自身のGAPを理解し必要なスキルを抽出できる		
			3 キャリアパス	自身の目指すべき将来を具体的に説明できる		
3	キャリアデザイン2	企業研究・学校研究の目的を理解し、展示会や企業訪問に対する動機づけを行う	1 企業研究の大切さ	進路先（企業/大学等）の研究の大切さを認識できる	3	
			2 企業研究法	進路先（企業/大学等）の研究方法を理解できる		
			3 企業研究実践	進路先（企業/大学等）の研究を実践できる		
4	業界研究	展示会・企業訪問により、業界動向を理解する	1 展示会/企業訪問①	訪問企業①の強み・弱みを理解し説明できる	3	
			2 展示会/企業訪問②	訪問企業②の強み・弱みを理解し説明できる		
			3 展示会/企業訪問③	訪問企業③の強み・弱みを理解し説明できる		
5	キャリアデザイン3	展示会や企業訪問により選定した参考企業において履歴書の練習を行う	1 履歴書の書き方①	個人情報欄に記載する内容とルールを理解できる	3	
			2 履歴書の書き方②	自己PRに記載すべき内容を理解できる		
			3 履歴書の書き方③	志望動機に記載すべき内容を理解できる		
6	キャリアデザイン4	履歴書ワークによる自身の改善点を理解する	1 履歴書の書き方④	個人情報欄に記載する内容を記載できる	3	
			2 履歴書の書き方⑤	自己PRに記載すべき内容を理解し表現できる		
			3 履歴書の書き方⑥	志望動機に記載すべき内容を理解し表現できる		
7	近隣地域企業経営者による講演 1	近隣地域の企業経営者による講演を視聴し、自身のキャリアデザインに必要なスキルを把握すると共に、講演内容を論理的に理解・整理しレポートにまとめる	1 講演内容の理解	講演内容を理解し自身の言葉で説明できる	3	
			2 レポート作成	講演内容を論理的に整理し自身の意見を纏める事が出来る		
			3 質疑応答	質問内容を整理し相手が解り易い質問を積極的にする事が出来る		
8	近隣地域企業経営者による講演 2		1 講演内容の理解	講演内容を理解し自身の言葉で説明できる	3	
			2 レポート作成	講演内容を論理的に整理し自身の意見を纏める事が出来る		
			3 質疑応答	質問内容を整理し相手が解り易い質問を積極的にする事が出来る		
9	近隣地域企業経営者による講演 3		1 講演内容の理解	講演内容を理解し自身の言葉で説明できる	3	
			2 レポート作成	講演内容を論理的に整理し自身の意見を纏める事が出来る		
			3 質疑応答	質問内容を整理し相手が解り易い質問を積極的にする事が出来る		
10	近隣地域企業経営者による講演 4		1 講演内容の理解	講演内容を理解し自身の言葉で説明できる	3	
			2 レポート作成	講演内容を論理的に整理し自身の意見を纏める事が出来る		
			3 質疑応答	質問内容を整理し相手が解り易い質問を積極的にする事が出来る		
11	近隣地域企業経営者による講演 5		1 講演内容の理解	講演内容を理解し自身の言葉で説明できる	3	
			2 レポート作成	講演内容を論理的に整理し自身の意見を纏める事が出来る		
			3 質疑応答	質問内容を整理し相手が解り易い質問を積極的にする事が出来る		
12	近隣地域企業経営者による講演 6	1 講演内容の理解	講演内容を理解し自身の言葉で説明できる	3		
		2 レポート作成	講演内容を論理的に整理し自身の意見を纏める事が出来る			
		3 質疑応答	質問内容を整理し相手が解り易い質問を積極的にする事が出来る			
13	近隣地域企業経営者による講演 7	1 講演内容の理解	講演内容を理解し自身の言葉で説明できる	3		
		2 レポート作成	講演内容を論理的に整理し自身の意見を纏める事が出来る			
		3 質疑応答	質問内容を整理し相手が解り易い質問を積極的にする事が出来る			
14	近隣地域企業経営者による講演 8	1 講演内容の理解	講演内容を理解し自身の言葉で説明できる	3		
		2 レポート作成	講演内容を論理的に整理し自身の意見を纏める事が出来る			
		3 質疑応答	質問内容を整理し相手が解り易い質問を積極的にする事が出来る			
15	まとめ	科目を総括し、自身の不足点、改善点を抽出し修正を行う	1 科目の総括	授業内容における自身の改善点を抽出し対策に向けたプランを立案できる	1	
			2 ビジネス能力検定演習①	ビジネス能力検定演習で合格(70点)する		
			3 ビジネス能力検定演習②	ビジネス能力検定演習で合格(70点)する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等